

# (株) 吉崎商会環境行動計画

平成24年1月20日

## 取組方針

株式会社吉崎商会は、『①急速な社会の流れをすばやく感知し、社会世間の求めている新しい創造性のある営業分野の開発に執念を燃やし、管工事・電気工事・機械設備工事・土木工事の発展を目指す。②健全な会社運営を基本に活力ある社員の育成の基、社会の感謝の気持ちを持って貢献する。』ことを念頭に置き、顧客や社会のニーズにあった工事に、日々従事しています。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指してまいります。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動の中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減・節水）
- ② 製造部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③ 工事部門の車両燃料節約
- ④ 廃棄物リサイクル分別の徹底

この取組方針に基づき関係者全員が各々が自主的に環境保全活動に取り組んでいく為、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全関係者に周知徹底します。

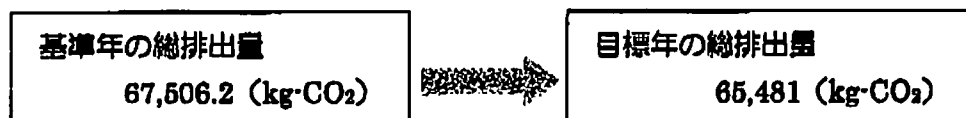
平成24年1月20日

株式会社吉崎商会  
代表取締役 吉崎 豊

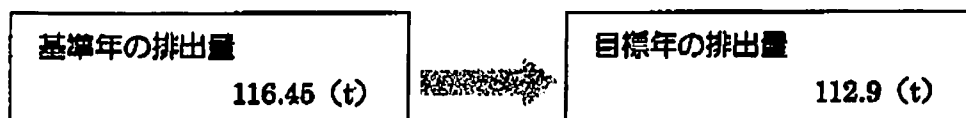
### 3 環境負荷の低減目標

24 年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。（数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも 23 年です。）

#### 【目標 1】 二酸化炭素の総排出量を 3%削減する



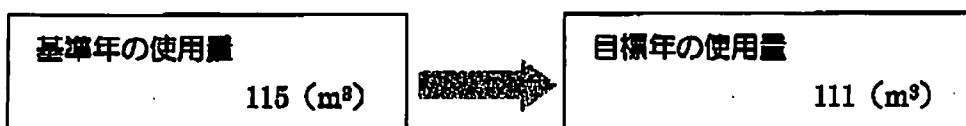
#### 【目標 2】 産業廃棄物の排出量を 3%削減する



#### 【目標 3】 コピー用紙の使用量を 3%削減する



#### 【目標 4】 水使用量を 3%削減する



#### 【目標 5】 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

### 4 環境保全に向けた具体的な取組

#### 【取組 1】 二酸化炭素排出量の削減

##### （現場での取組・活動）

- ・ 作業計画を入念に行い、作業効率の向上により残業時間を減少させる
- ・ 小休憩時や昼食休憩時等にコンプレッサー・重機等を確実に停止させる
- ・ 車両の経済運転を徹底する（急発進・停止しない。経済速度の徹底。道具類等の荷物の軽減 等）
- ・ 走行経路の見直し及び相乗り（同一現場での車両台数の軽減）に努める

##### （事務・営業部門での取組）

- ・ 事務室の空調温度を適正（冷房時 28 度、暖房時 20 度）に設定する
- ・ クールビズ等の活用する。
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ 社用車の効率的な使用（運転経路、相乗り）を徹底する
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- ・ 車の空調温度を適正温度に設定する

【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

(産業廃棄物)

- ・ 現場発生 of 廃棄物を削減できる工法を検討する
- ・ 廃棄物の分別仕様を再検討し、置き場を整備する
- ・ 廃棄物管理票 (マニフェスト) の管理を徹底する
- ・ 不良品・スクラップ製品の発生状況を記録し、掲示する
- ・ ウェス、軍手は使用限度を定め、再利用も含め、無駄に廃棄しない

(一般廃棄物)

- ・ ごみの分別を徹底し、再利用、再使用に努める
- ・ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する
- ・ 製品をできるだけ長期間使用する

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める

【取組4】 水使用量の削減

- ・ 配管からの漏水を定期的に点検する
- ・ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する
- ・ 水道蛇口に節水こまを設置する

【取組5】 その他の取組

- ・ 毎月、全社員による現場・倉庫・資材置き場の総点検を行い、5Sを徹底する
- ・ 製品、材料、工具は、決められた場所に返却する

5 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。

(環境活動委員会)

【委員長】 社長 → 【副委員長兼推進員】 専務

